

今起こってること 身近

熱中症患者の増加

市内の熱中症による救急搬送件数は230件(令和7年)。運動会など行事の開催時期や時間をずらす等の対策をとることも増えました。



生物分布の変化

気温が上がることで、貴重な在来種が減ったり、外来種が定着したりして、本来の生態系に影響をおよぼしています。



デング熱などの感染症を媒介する蚊も、北へ分布を広げています。

豪雨の多発

温かい空気は水分を多く含むため、一度に大量の雨を降らせてます。近年その回数も増え、水戸も大きな被害を受けています。



暑さと日差しで傷んでしまったリンゴ

農作物への被害

慣れ親しんだ米や野菜、果物が正常に育ちにくくなり、品種改良などの対策をせざるをえなくなっています。

私たちにできることは?

温暖化を進めないために

- ・使い捨て製品より、長く使えるものを選ぶ
- ・保温のため、トイレのふたを閉める
- ・徒歩や自転車、公共交通機関で移動する
- ・食品ロスをなくす
- ・使用済み食用油を回収に出す

詳細は次のページ!

など...

温暖化に対処するために

- ・クーリングシエーターで熱中症を予防する
- ・感染症を媒介する蚊が増えないよう、植木鉢の水受け皿を空にする
- ・グリーンカーテンで室温の上昇を抑える
- ・災害時の避難経路や避難場所を確認する
- ・庭を緑化する

など...

地球温暖化の影響は、すでに身近なところでも出てきています。少しでも被害を抑えるため、まず知ることから始めましょう。

特集

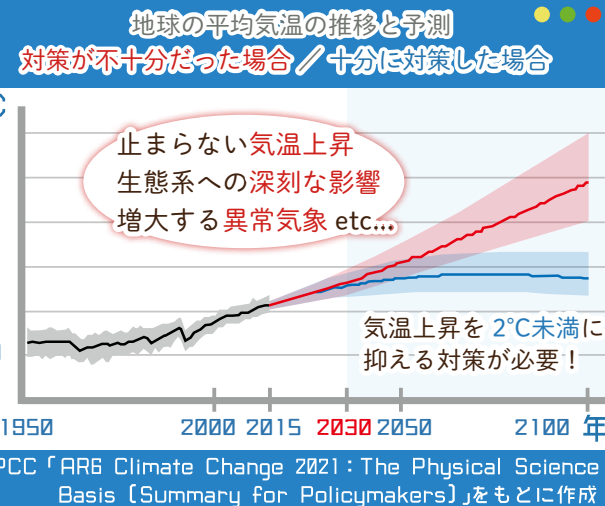


問合せ▶環境保全課(☎232-9154)

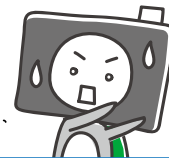
地球温暖化 これから

1の100年間で日本の平均気温は約 1.2°C 上がり、水戸市ではそれを上回る約 1.5°C もの上昇が記録されました。夏の猛暑や集中的な豪雨など、身近なところにもさまざまな影響が出始めています。

2030年までに十分な温暖化対策をしないと、その先の気温の上昇を止めることが難しくなり、今までのような生活を維持できなくなると言われています。今やらないと、間に合いません。今なら、まだ間に合います。



未来の人たちに
怒られちゃう...

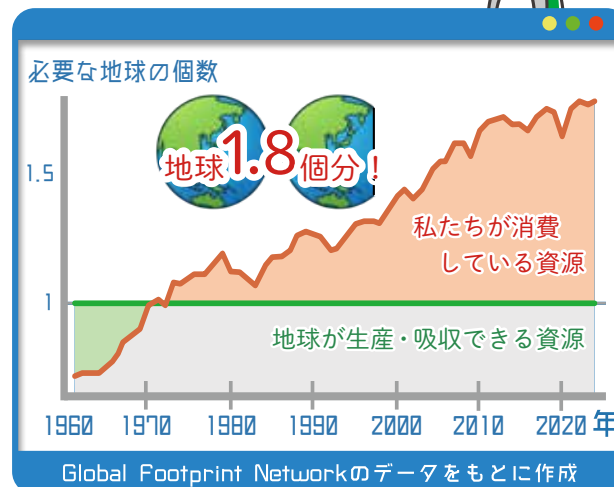


地球の資源 足りてる?

世界中の人々が使う資源やエネルギーを支えるために、どれくらいの広さの自然環境が必要か(*)を表すと、なんと地球 1.8 個分にもなります。

私たちの生活は、森林などが数億年かけて蓄えてきた資源を、環境の維持ができる 2 倍もの速さで「先食い」しているのです。

ちなみに、世界中の人々が日本と同じ生活を送った場合、世界平均(1.8 個分)を超える、地球 2.7 個分も必要になるほど資源を消費することになり、世界全体で見ても、日本は多くの資源を使っています。



※「エコロジカルフットプリント」といいます。

？ 教えてカメらくん！回収のギモン

どれくらい溜めたら回収できる？

ボトルの7～8分目が適量だよ！
数に限りがあるから、なるべく早
めに返却してくれるとうれしいな

ペットボトルとかに入れてもいいの？

実は、一度油を入れてしまうとリサ
イクルができなくなっちゃうんだ...
だから必ず、専用のボトルを使っ
てね！

どんな油でも回収してくれるの？

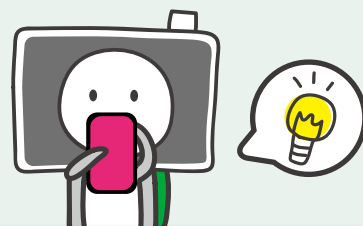
全部の油を SAFに変えられるわけ
ではないんだ
下の表を参考にししてね！

回収できる油

サラダ油、菜種(キャノー
ラ)油、コーン油、ベニバ
ナ(サフラワー)油、ヒマワ
リ油、綿実油、ごま油、落花生油、
こめ油、オリーブオイルなど

回収できない油

ヤシ油、ショートニング、
パーム油、マーガリン
牛脂、豚油(ラード)、魚油
食用ではない油(エンジンオイルやグ
リスなどの鉱物油・化学合成油等)



使用済み食用油は、どれくらい
きれいにする必要がありますの？

油かすを軽く取除くだけでOK！

ボトルは、いつ、どこでもらえるの？

この3か所で配布・回収をしているよ！

イオンスタイル水戸内原 サービスカウンター

※線路側東入口に入って左側



受付時間▶9:00～22:00

マルト元吉田店 サービスカウンター



受付時間▶9:30～19:00

水戸市役所3階 環境保全課



受付時間▶8:30～17:15(平日)

今後、拠点が増えたらお知らせするから、みんなもぜひ取組んでみてね！

利用者の声

今まで捨てていた油が、飛行機を動かす燃料になると聞いて驚きました。油を固めて捨てる費用を削減しつつ、身近で簡単に環境問題に貢献できることがとてもうれしいです。

今後、回収拠点が 늘어나 ば、さらに多くの人が参加しやすくなり、環境問題を考えるきっかけになると期待しています。



環境フェア 2025

ID 0113050

気候変動や消費生活など、地球環境の保全について体験しながら学べるイベント。

日 1/31(土) 10:00～15:30
場 市民会館ほか
問 環境保全課(☎232-9154)



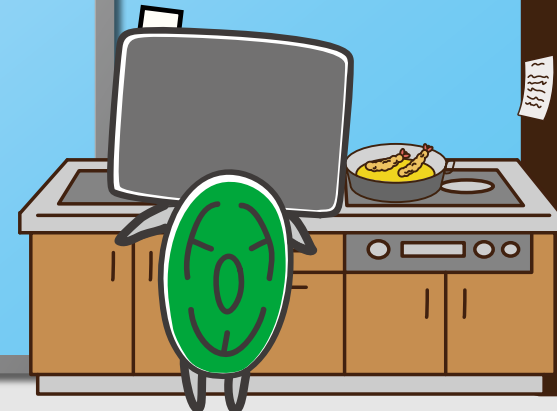
特集記事 Feature Article

Kitchen Airlines

捨てるはずの油が 地球を救う!?

地球規模の環境問題に対し、私たちにできることは何でしょうか。ここでは、手軽でお得に貢献できる取組を紹介します。

詳細はこちら▶



「SAF」って知ってる？

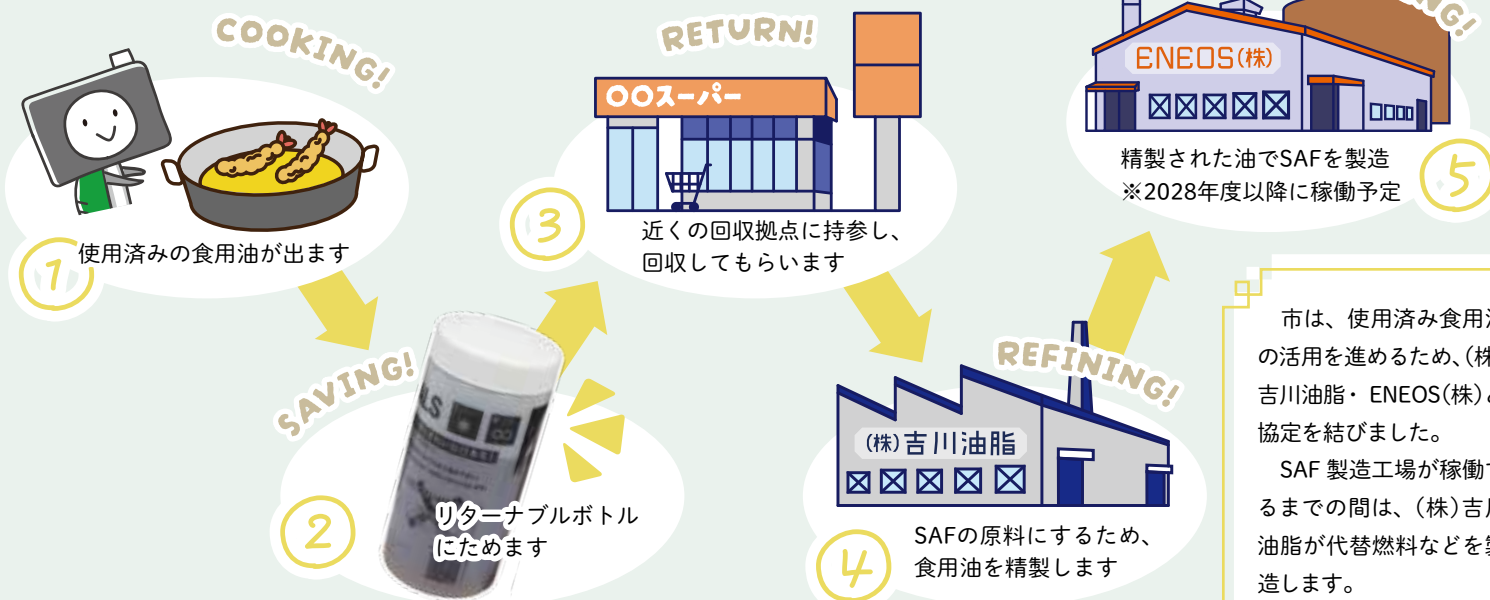
飛行機が飛ぶときに排出する二酸化炭素(CO₂)は、地球温暖化を進める原因の一つと言われています。このCO₂排出量を減らすために開発されたのが、持続可能な航空燃料、略して「SAF」です。

SAFは、石油を原料とするこれまでの燃料と違い、家庭から出る食用油などから作ることができる、とってもエコな燃料なんです。



Let's「油回収」!

家庭から出た使用済みの食用油を回収する取組が始まりました。身近な拠点で受け取れる「リターナブルボトル」に油をため、各拠点に返却するだけ。廃棄するコストを削減できると同時に、集まった油は、精製したのちに SAF の製造に活用され、CO₂排出量の削減に役立てられます。



持続可能な
Sustainable
航空
Aviation
燃料
Fuel

これまでの航空燃料とほぼ変わらない性能を持ちながら、約60～80%ものCO₂排出量を削減できます。〈捨てるはずだった油〉が〈航空業界における脱炭素化の切り札〉に変わるのです。

TAKEOFF!

エコな燃料になって
きれいな空へ!

MANUFACTURING!

ENEOS(株)

精製された油でSAFを製造
※2028年度以降に稼働予定

5

REFINING!

(株)吉川油脂

SAFの原料にするため、
食用油を精製します

4

市は、使用済み食用油の活用を進めるため、(株)吉川油脂・ENEOS(株)と協定を結びました。
SAF製造工場が稼働するまでの間は、(株)吉川油脂が代替燃料などを製造します。